

はじめに

今年度、当センターが市町の協力を得てまとめた社会教育の調査結果を見ると、平成23年度、県内の公民館と公民館類似施設の利用者は、合わせて約1,030万人です。県民一人当たり年間3回以上、利用していることとなります。これは、市町の公民館等関係者の不断の努力の成果であり、市町の公民館や公民館類似施設が、地域における学びの拠点施設となっていることの現れであります。

この公民館等での学びの中で、例えば「私は公民館の教室で学ぶようになって生きがいがあった」とか「家庭教育の講座に参加して子育てを見つめ直すことができた」とかいう県民の「学んで良かった」という思いがたくさん増えていくことが、私たちが目指す「広島で学んで良かったと思える日本一の教育県の創造」につながるものと思います。

そのために、当センターは、県内の生涯学習・社会教育を推進・支援する拠点施設としての自覚と責任を常に持ち、市町や社会教育関係団体等と連携する中で、関係職員等の資質の向上を図るための各種研修の実施や市町が行う研修への支援を進めているところです。

私たちセンター職員の指導、支援やかかわりにおいては、それが市町や社会教育関係団体等にとって有益なものであり、頼りになるものであることが重要であります。常々、職員には「県の生涯学習センター職員として、自分の担当している事柄については、県内で誰よりも一番詳しく、そして指導助言できる存在でなければならない」と言っています。

そこで、今年度、新たな取組として、社会教育に携わる職員としての専門性や技術力を向上させるために、職員一人一人が自分の所掌する業務の中から、「より専門的に深めたいこと」や「課題としていることへの考察」等をテーマとして設定し、日常の職務の遂行を通じたOJTによる研究活動を進めてまいりました。本報告書は、その研究成果をまとめたものであり、忌憚のない御意見、御指導をいただければ幸いです。

今後とも、私ども広島県立生涯学習センターは、県内の生涯学習振興・社会教育行政に関わる方々から信頼され、頼りにされる存在となるべく、引き続き研鑽を積み、その資質の向上に努めてまいります。

最後になりましたが、当センターの事業推進に御支援、御協力いただいている関係者の皆様と本研究の御指導をいただいた皆様に、心から感謝申し上げます。

平成25年3月

広島県立生涯学習センター
所長 池田彰夫